

内臓脂肪減少薬について

内臓脂肪減少薬 アライ(一般名 オルリスタット)は、消化管管腔内で脂肪分解酵素リパーゼの活性を阻害し、食事に含まれる脂肪の吸収を抑制する薬です。



(引用：大正製薬 HP)

次の①～⑥に該当する方は服用できません。

- ①本剤又は本剤の成分により、アレルギー症状を起こしたことがある人
- ②18才未満の人
- ③次の医薬品を服用している人
シクロスポリン製剤(免疫抑制剤)、抗 HIV 薬(エイズ治療薬)、ワルファリン等の抗凝固薬
- ④次の診断を受けた人
吸収不良症候群(食事からの栄養吸収の障害)、胆汁うっ滞、病気や薬による肥満(二次性肥満)
- ⑤妊婦又は妊娠していると思われる人
- ⑥BMIが35以上の人 又は BMIが25以上35未満で次のいずれかの診断を受けている人
耐糖能障害(2型糖尿病・耐糖能異常)、脂質異常症(高脂血症)、高血圧症、高尿酸血症(痛風も含む)、冠動脈疾患(心筋梗塞・狭心症)、脳梗塞または一過性脳虚血発作、非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)、月経異常または女性不妊、閉塞性睡眠時無呼吸症候群または肥満低換気症候群、運動器疾患(変形性関節症・変形性脊椎症)、肥満関連腎臓病

次の(1)～(5)に該当する方は医師又は薬剤師に相談してください。

- (1)医師の治療を受けている人
- (2)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (3)次の診断を受けた人
膵炎、のう障害(胆石等)、腎臓病
- (4)次の医薬品を服用している人
アミオダロン製剤(心臓の薬)、レボチロキシン(甲状腺障害治療薬)、てんかん薬、抗うつ薬、抗精神病薬(リチウム製剤を含む)、ベンゾジアゼピン系薬剤(抗不安薬・睡眠薬)、経口避妊薬
- (5)健康診断において再検査又は精密検査の必要性を指摘されている人



<処方薬(医療用医薬品)ではないの？ 購入するには？>

内臓脂肪減少薬 アライは薬局の薬剤師から直接購入できる要指導医薬品で、医師の処方する薬ではありません。

購入するには次のすべてを満たす必要があります。

- * 購入 3 ヶ月前から生活習慣改善の取り組みを行っている
- * 定期的に健康診断を受けている
- * 腹囲(へその高さ)が 男性：85cm 以上 女性：90cm 以上

また購入の際は、直近 1 ヶ月の生活習慣記録の提示が必要です。

記録は用紙の他、LINE ミニアプリ「STEP UP DIARY」でも可能です。

<副作用はあるの？>

内臓脂肪減少薬 アライには副作用があります。気になる症状があらわれた場合は、購入した薬局の薬剤師又は医師にご相談ください。

ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎結石	結石が尿管内を移動する時などに、激しい腹痛があらわれ、吐き気・嘔吐を伴うことがある。血尿が見られる場合もある。
ビタミンA 減少に伴う症状	目の違和感(夜間視力の低下・目の乾燥等)、皮膚の違和感(皮膚が硬くなる・カサカサになる等)、繰り返しの感染症の発症、発熱、発疹・発赤等
ビタミンD 減少に伴う症状	腰・関節・骨の痛み、骨折、筋力の低下、筋肉の痛み等
ビタミンE 減少に伴う症状	貧血(ふらつき・息切れ・動悸等)、しびれ・知覚鈍麻等の神経症状等
ビタミンK 減少に伴う症状	青あざができる、鼻血、腹部不快感、黒色便の持続、血便、脱力、疲労を感じやすい、めまい、生理出血量の増加、血尿等
その他	胃痛、腹痛、軟便、下痢、急激な便意、排便回数の増加又は減少、放屁(おなら)、腹部膨満感、腹部不快感、便又は油を伴う放屁(おなら)、便又は油の漏れ、脂肪便(脂肪又は油層の混ざった便)

薬局の薬剤師から直接購入できる要指導医薬品は、他にもあります。

まずは気軽にご相談ください。

- ※ 掲載内容は発行当時の情報です。
- ※ 転載、複製、改変等は禁止です。

